

600 日生きたカトウツケオグモ

中峰 空

筆者は採集例の少ないクモとして知られるカトウツケオグモを約 600 日間飼育したのでその記録を報告する。

2012 年 4 月 21 日, 筆者は兵庫県三田市福島兵庫県立有馬富士公園の林の生態園, 園路沿いの柵上で静止していたカトウツケオグモ成体 1 ♀を採集した (写真 1, 2012 年 4 月 29 日, 筆者撮影).



採集後, 三田市有馬富士自然学習センター内の温度変化の少ない施設の北側に位置する室内で飼育と観察を継続した. この部屋は恒常的に冷暖房を入れておらず, 室温は真夏で 28℃以下, 冬場は 5℃~ 10℃程度で維持されている. 飼育容器は透明カップを用いた. ふたにエサを投入するための穴を空けてスポンジで栓をし, 容器の底に湿度調節用のキッチンペーパーを敷いた (写真 2).



エサは 4 月から 11 月の活動期間中, 3~ 4 日に一度の頻度で体長 5mm ~ 8mm 程度のハエ・アブ類を中心に与えた. 他にヤブキリの幼虫を与えても捕食した. また, 給餌時に霧吹きで水分を与えた.

2013 年 12 月 14 日, いつもは脚を閉じてじっとしているのに少しだけ脚が開いていることに気付き, 取り出して見てみると動かなくなっていた. 腐敗, 変色, 乾燥, 硬化は見られず, 生時と同じ体色をしており脚の節も柔らかく動いたため, 死後それほど時間が経過していないと判断した. 採集した 2012 年 4 月 21 日を含めると死

亡を確認した 2013 年 12 月 14 日まで 603 日間, 少なくとも 600 日は生存していたと考えられる.

飼育中, オスの成体を採集して飼育下での繁殖を目指していたが, これは叶えられなかった.

(Hiroshi NAKAMINE 三田市有馬富士自然学習センター)